





# 梅雨時期にこそ熱中症対策！！ 暑さに体を慣らしましょう



熱中症対策といえば水分補給のイメージですが、少しずつ暑さに体を慣らすこと(暑熱順化)も大切です。梅雨の時期は雨で気温が下がり、それまでに暑さに慣れ始めた体も元に戻ってしまいがちです。梅雨の晴れ間で気温が上がる日は、温度も湿度も上がって熱中症に特に注意しましょう。

お家の中でも暑さに慣れる体づくりができます。  
家族みんなで、本格的な夏に向けての体づくりをしてみませんか？

## ①お外遊びをする



## ②湯船につかる



## ③汗ばむ程度の体操



## 保健だより 6月号 〔今 保育所の看護師に求められている役割とは何か？〕 ～生命と生きるを援(たす)けるのが 私たちの使命～

前にも書いたことがあるのですが、医療の世界の人たちの合言葉は次のように言っています。

Life is our lifework. (生命を守るのが私たちの使命)

だから私たちはつい最近まで保育所看護師の役割を次のように考えていました。

Live is our lifework. (生きるを援けるのが私たちの使命)

しかし日本での保育所看護師の誕生の成り立ちを振り返ると「0歳児保育の援助者」だと思われてきたようです。こうした考え方の中で改めて日本の保育の現状を見つめてみた時、昔からの保育所保育から脱却できていないような気がします。時代は今混沌とした社会の変動の中で多様化した価値観や生き方についていくことのできない弱者が数多く生まれ、若者たちのリストカットや自殺、虐待、いじめなどの社会現象が数多く生まれてきています。

だから私たちは改めて保育所保育の考え方を考え直さなければなりません。そして私たち(社福)童心会の看護師や保育士をはじめとする各種職域の人たちの目指すべき役割を次のように改めました。

Life and live is our lifework. (生命と生きるを援(たす)けるのが私たちの使命)

改めて私たちが目指すべき保育(人間学と人間科学に基づく人間教育)とは「保健・福祉・医療・教育・子育て支援・発達障害児支援・医療的ケア etc との協働」をしながら私たちに課せられた“Well-being 幸せになろうね! 幸せになろうよ!”を身に付けられるように生きることなのでしょう!

改めて「生命と生きるを援けるのが私たちの『使命』であること」を忘れてはなりません。

令和7年6月、今日もまた一日一生を念じながら全ての仲間たちの Well-being を祈り願い続けます。

どうぞ いつまでも お幸せに!!

理事長 中山 勲 拝

